

岩手県企業短期経済観測調査結果（2018年12月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率100%（回答数68社、うち製造業26社、非製造業42社）
- 回答期間 11月13日～12月13日

1. 業況判断指数 (DI)

業況判断指数（全産業）は、前回調査（9月）に比べ、「良い」超幅が拡大した（前回13 → 今回14）。

業種別にみると、製造業は、国内需要の好調に伴い食料品や窯業・土石製品で業況が改善したことから、「良い」超幅が拡大した（前回11 → 今回19）。非製造業は、建設の業況判断が引き続き改善した一方、人手不足や復興復旧関連需要の減少等を背景に業況判断を引き下げた先がみられたことから「良い」超幅が縮小した（前回14 → 今回12）。

先行きについては、製造業では、電気機械や輸送用機械で受注減少懸念等から判断を引き下げる先がみられており、「良い」超幅が縮小している（今回19 → 先行き予測11）。非製造業でも、復興需要の減少懸念等から「悪い」超に転じており（今回12 → 先行き予測▲7）、全産業でも「良い」超幅が縮小（今回14 → 先行き予測0）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」の「供給超過」超幅が縮小傾向にあり、「仕入価格判断DI」と「販売価格判断DI」の「上昇」超幅が拡大した。また、「生産・営業用設備判断DI」は引き続き「不足」超の状態にあり、「雇用人員判断DI」も大幅な「不足」超の状態が続いている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
製造業	7	4	15	4	11	19(11)	11
素材業種	0	0	22	12	0	12(12)	12
加工業種	11	6	11	0	17	22(11)	11
非製造業	▲2	5	3	3	14	12(▲7)	▲7
建設	▲8	0	7	20	34	40(0)	14
全産業	2	4	8	3	13	14(0)	0

2. 売上高・経常利益（2018年度計画）

売上高は、製造業では、国内需要の好調から窯業・土石製品等で上方修正がみられたものの、競争激化による受注減少懸念を受けて電気機械で下方修正されたため、前回調査比増収幅が縮小し、前年並みとなる計画。一方、非製造業は、民間建設需要の好調等を背景に建設や卸売で上方修正されたことから、増収に転じる見通し。全産業では小幅増収の計画。

経常利益は、製造業では、受注減少懸念に伴い電気機械で下方修正されたことから3割弱の減益となる計画。一方、非製造業では、民間建設需要や個人消費の増加を背景に建設や小売で増益を見込んでおり、全体では2割弱の増益予想。全産業では、前回調査比1割程度の方修正となり、小幅減益の計画となっている。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	2017年度(実績)		2018年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 0.6	1.5	0.1 (▲ 4.6)	▲ 3.4 (▲ 0.2)	3.7 (▲ 8.5)	▲ 27.7 (▲ 26.5)	▲ 55.8 (12.5)	28.5 (▲ 40.6)
非製造業	▲ 2.1	▲ 24.0	2.9 (3.0)	3.3 (2.1)	2.5 (3.9)	16.0 (2.1)	▲ 14.1 (6.1)	38.4 (0.3)
全産業	▲ 1.5	▲ 13.6	1.7 (▲ 0.3)	0.3 (1.1)	3.0 (▲ 1.6)	▲ 5.0 (▲ 10.6)	▲ 38.7 (8.8)	35.0 (▲ 18.4)

3. 設備投資額（2018年度計画）

設備投資額（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）は、製造業では、電気機械を中心に1割方の方修正となったものの、輸送用機械における新製品対応投資の増加等から、全体では前年を上回る計画。一方、非製造業では、卸・小売や対個人サービスでの投資一服等から、前年を2割方下回る見通し。全産業では前年を若干下回る計画。

—— 前年同期比・%、()内は前回調査比修正率・%

	設備投資*		ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)
製造業	1.7	16.1 (▲ 10.2)	5.7	17.3 (▲ 8.7)
非製造業	▲ 5.5	▲ 21.7 (▲ 0.6)	21.1	▲ 20.0 (▲ 0.3)
全産業	▲ 2.0	▲ 2.8 (▲ 6.6)	12.8	▲ 1.3 (▲ 5.5)

*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、() 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲18	▲17	▲17	▲15	▲13	▲10(▲16)	▲18
製商品在庫	「過大」—「不足」	4	6	4	5	4	4(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	30	33	29	28	29	33(30)	38
販売価格		▲2	3	2	0	6	10(3)	▲5

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
製 造 業	▲11	0	▲11	▲11	▲15	▲15(▲7)	▲11
非 製 造 業	▲3	▲3	▲5	▲8	▲8	▲5(▲8)	▲8
全 産 業	▲6	▲2	▲7	▲9	▲11	▲9(▲8)	▲9

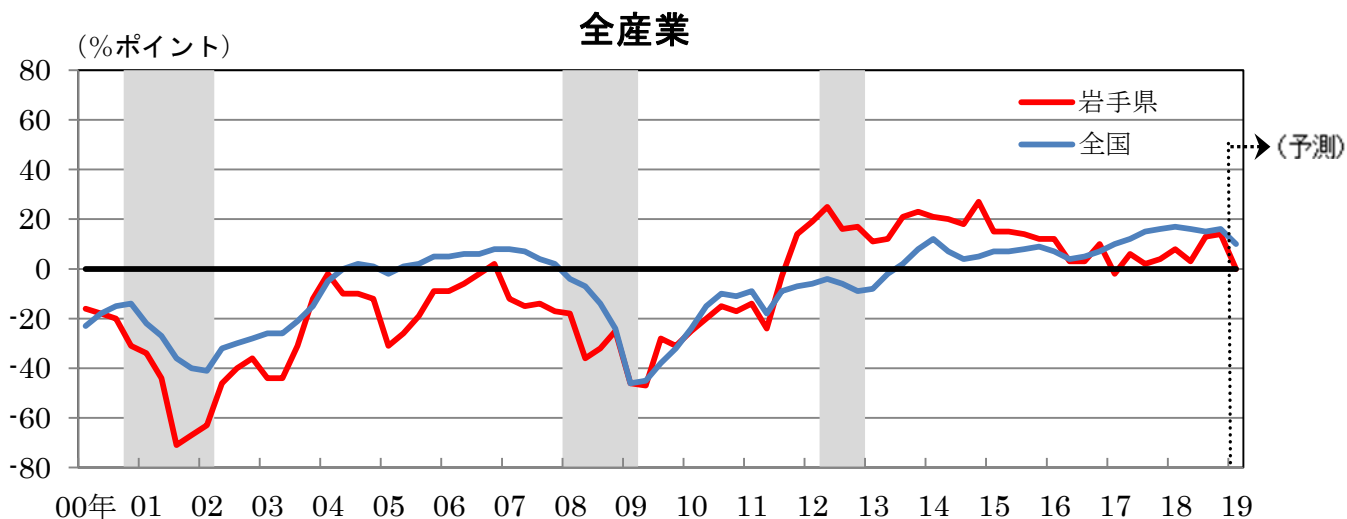
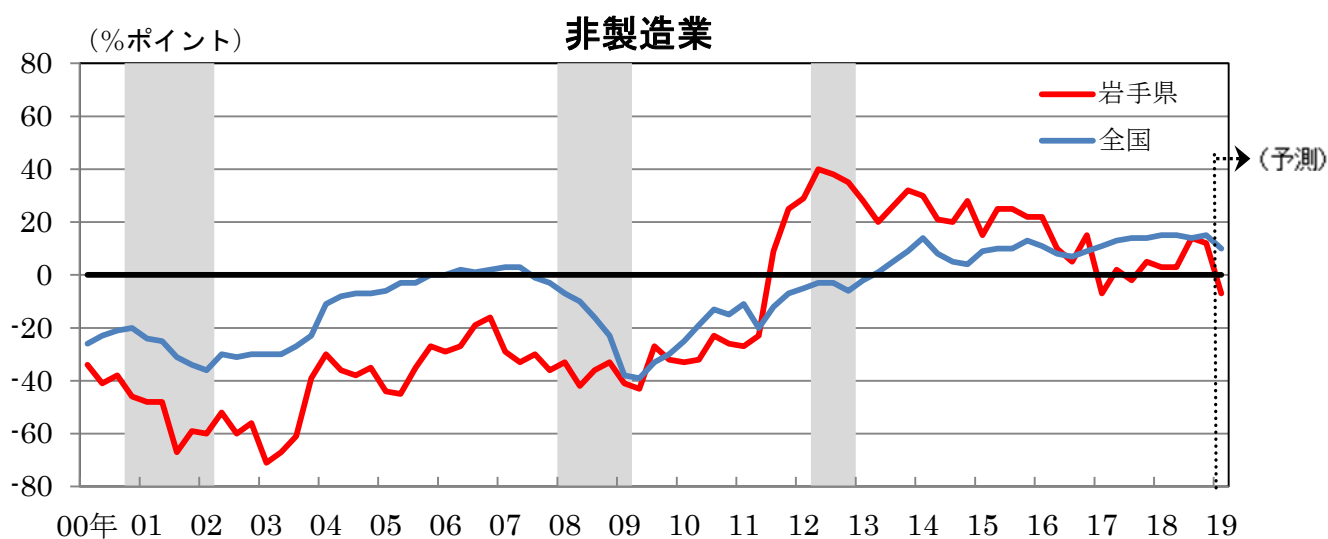
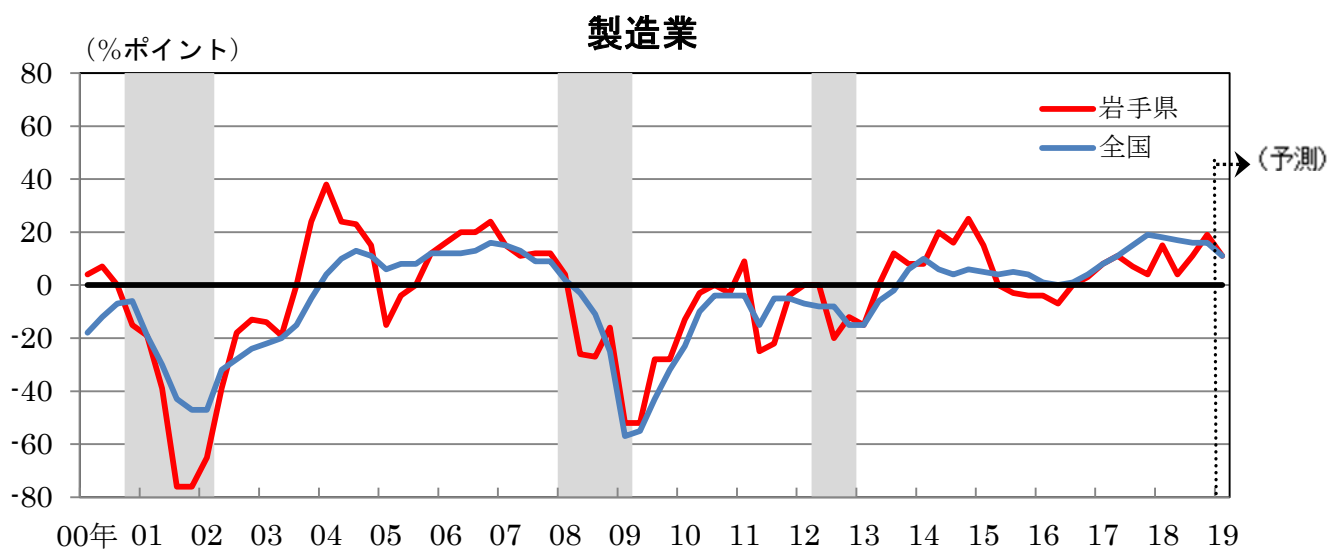
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
製 造 業	▲33	▲37	▲42	▲34	▲38	▲38(▲34)	▲30
非 製 造 業	▲30	▲35	▲50	▲52	▲50	▲46(▲47)	▲49
全 産 業	▲31	▲36	▲47	▲46	▲46	▲44(▲43)	▲42

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	3	7	6	4	3	5(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	9	9	13	13	11	10(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲7	▲6	5	2	3	4(6)	3

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
製造業	全国	15	19	18	17	16	16 (14)	11
	東北	7	10	13	14	9	9 (12)	7
	岩手	7	4	15	4	11	19 (11)	11
非製造業	全国	14	14	15	15	14	15 (11)	10
	東北	12	11	8	8	7	6 (1)	0
	岩手	▲ 2	5	3	3	14	12 (▲ 7)	▲ 7
全産業	全国	15	16	17	16	15	16 (12)	10
	東北	10	10	9	10	9	7 (5)	3
	岩手	2	4	8	3	13	14 (0)	0

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

()内は前回予測

		17/9月	12月	18/3月	6月	9月	12月	19/3月 (予測)
全産業	岩手	2	4	8	3	13	14 (0)	0
	青森	8	8	6	9	7	3 (3)	0
	宮城	14	11	10	10	4	0 (2)	0
	秋田	14	13	9	8	9	6 (9)	7
	山形	15	13	14	19	14	6 (12)	3
	福島	8	8	10	9	5	10 (5)	4

以 上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>